



5月上旬りんごの花が咲きました。
確実に実を結んで欲しいと、今年もマメコバチヤ
人の手で人工授粉をしました。
りんごは一株に五輪の花が咲き、真ん中の花が
授粉するのがベストです!!
しかし自然の中なので、花も花粉も生き物ということであ
りタイミングがあります。人の思い通りにほならず、うまくは
いきませんが実を結んでくれる事に感謝しています。
早く咲きの玉杣の実が赤褐色で1cm程に成長しています。
これからも愛情込めて見守っていきたいと思います。

接(つ)ぎ木

接ぎ木とは元々の木の「台木(だいぎ)」に
異種の「穂木(ほぎ)」を育てる方法のことです。
台木に切り込みを入れ、マイナスドライバーのように
削った穂木を挟めてテープを巻いて固定します。
なぜ「接ぎ木」をするかというと、暑さや寒さ、病気、
害虫に強い木にしたいからです。

人生で初めての接ぎ木した
穂木から芽が出ました!!
初めてなのでちゃんとつくか
心配でした。無事についてくれて
安心しました。りんごが実ることを
楽しみにしています。 對馬



名札でわかりやすく!

園地には色々な品種の木があります。
どの品種の木なのか全く区別が付きません。
現在、摘果作業をしています。
品種ごとの木で作業を進めています。
例えば「ふじの木だけ摘果をしてください」と
伝えても、どの木が「ふじ」なのか
分からない状態でした...

今は、1本1本に名札をつけて管理しています。
名札をつけたことで、「あっちゃこっちゃ」迷う
こともなくなりました。環境を整える事の
大切さを改めて
感じました。佐藤

※あっちゃ、こっちゃ
...津軽弁で
あっちこっち



りんご農家の救世主

弘前市は気温が20°を超える日も多くなり、りんご園では
色々な動物が動き始めています。今回はりんごの木の上にある
巣箱に移住してきたフクロウさんを紹介したいと思います。

フクロウは雛を育てるためにたくさんの
ネズミを取ってくれます。りんご園の大敵の
ネズミを駆除してくれる自然の害獣対策です。
フクロウは津軽弁で「モホ」や「モホドリ」
と言われていて、昔からりんご農家にとって
身近な存在でした。今年の雛は巣立って
いきますが、またいつか園地に遊びにきて
欲しいと思っています。 原子



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : http://ooyufarm.com